



【 SANKOSHA SDGs Action 】

～ SDGs目標達成に向けて ～

『 サンコーシャグループは
SDGs実現に貢献してまいります 』

＜2026年 8月 更新＞

サンコーシヤグループ SDGs取組宣言

- 『世界を変えるための17の目標 / SDGs』 が国連サミットで採択され、世界がそれぞれのゴールに向かい変わり始めています。
- 私たちサンコーシヤグループは、創業以来、自然災害である 『雷』 と向き合い、雷防護技術の発展に貢献して参りました。
- 当社は通信、電力網整備などの戦後復興事業への貢献をはじめ、高度成長のインフラ構築を支えてきました。
- 『広く親しまれ社会に貢献するサンコーシヤを目指す』 という当社経営理念のもと、この 『持続可能な開発目標 / SDGs』 に共感し、サンコーシヤグループは最終ゴール2030年に向かって事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会実現に貢献してまいります。



サンコーシヤグループ グループ会社一覧



【海外グループ会社】

<販売拠点>

- ・ SANKOSHA U.S.A., INC.
- ・ SANKOSHA ENGINEERING (THAILAND) CO.,LTD.
- ・ SANKOSHA KOREA CORPORATION
- ・ 山光社香港有限公司
- ・ 上海圣科萨国际贸易有限公司
- ・ 臺灣山光社有限公司
- ・ SANKOSHA ENERGY AMERICA, INC.

<製造拠点>

- ・ PT. SANKOSHA INDONESIA
- ・ SANKOSHA VIETNAM
- ・ 広州圣科薩防電科技有限公司
- ・ L.V. Control Sdn. Bhd.

【国内グループ会社】

<販売拠点>

- ・ 株式会社北陸サンコーシヤ
- ・ 株式会社九州山光社

<製造拠点>

- ・ 株式会社ライゼン
- ・ 株式会社茨城テック
- ・ 北九州住設株式会社

<設備工事等施工>

- ・ 株式会社サンコーシヤシステムエンジニアリング
- ・ 株式会社中崎電子工業

<独自事業>

- ・ 株式会社フランクリン・ジャパン
- ・ 株式会社ベータテック
- ・ エースライオン株式会社
- ・ 株式会社オプトテクノ
- ・ 株式会社山光社エステート



<都市及び重要インフラのレジリエンス 向上策としての雷防護事業>

当社は雷防護システム及び関連製品の提供を通じ、通信・電力・交通等の重要インフラを雷被害から防護し、当社技術が都市機能のレジリエンス(※)向上に貢献することを目指してまいります。

(※) レジリエンス (Resilience) : 強靱性/事故や障害からの回復性・復元性

1 貧困をなくそう



『貧困をなくそう』

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



『産業と技術革新の基盤をつくろう』

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

11 住み続けられるまちづくりを



『住み続けられるまちづくりを』

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

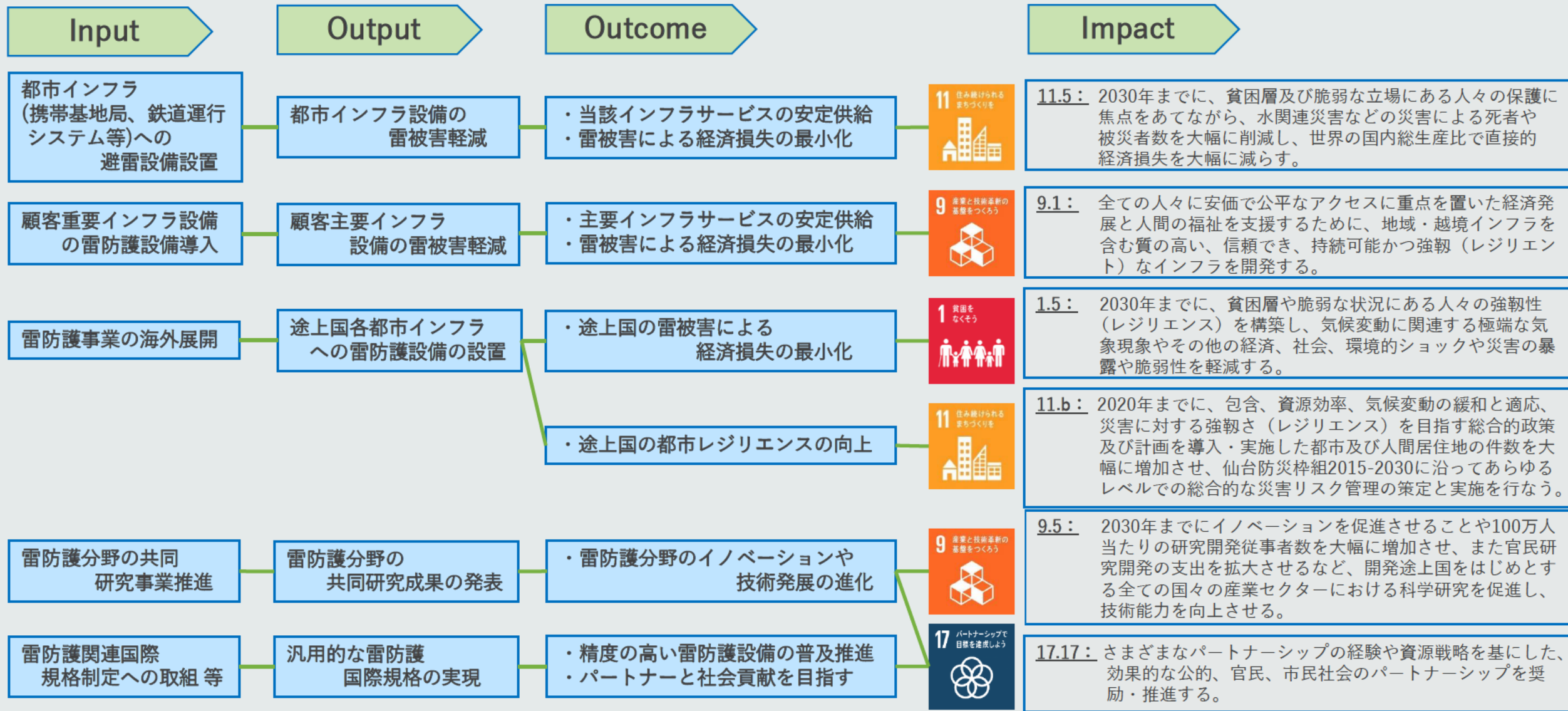
17 パートナリシップで目標を達成しよう



『パートナーシップで目標を達成しよう』

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

サンコーシャグループSDGs活動のロジックモデル < 雷防護関連事業 >



雷防護事業の海外展開

- ・ “世界的災害である「雷」には、世界水準の本質的な「雷防護」を打ち立て向き合う” という理念の元、サンコーシヤグループは海外展開にも注力しています。
- ・ 現在、アメリカ・中国・韓国・タイ・ベトナム・インドネシア・マレーシア・台湾の8つの地域に拠点展開を図り、世界各地のインフラや経済の発展に当社の技術力や視野が大きく貢献しています。

1 貧困をなくそう



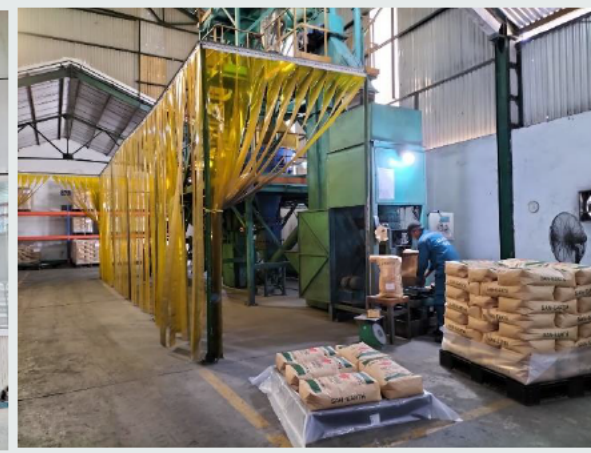
9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



【 SANKOSHA INDONESIA 】



【 SANKOSHA VIETNAM 】

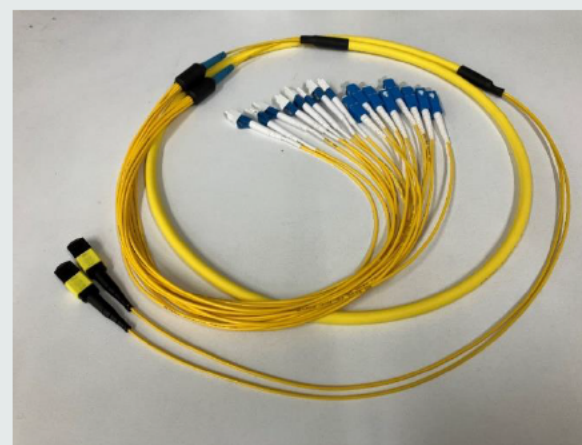
都市機能向上に向けた情報通信ソリューション事業

- ・最先端の独自技術と製品を駆使し、さらに緻密化・複雑化する情報通信ネットワークをサポートしています。
- ・各種端子板をはじめとするメタル通信関連の機器・設備から、光デバイス、カプラをはじめとする光通信関連の機器・設備及び各種制御機器やCATV関連機器に至るまで、より高速化する次世代コミュニケーションネットワーク構築に不可欠な製品を供給し、都市機能向上に貢献し、住みやすい街として、人々の満足度に貢献して行くことを目指してまいります。



【200心 光パッチパネル】

データセンター等、心数の多いケーブル敷設時にも対応できる製品です。
内部配線済みのため、融着後は直接コネクタ接続が可能です。



【光コネクタ付コード集合型光ケーブル】

ケーブル全長、分岐長、研磨種類、コネクタ種類を自由に選択いただける製品です。
MPOコネクタも選択可能で、ご利用用途に応じたカスタマイズ品をご提供します。

社員や製品が受賞した賞と感謝状

《2024年》

- ・ 一般社団法人日本電気協会 澁澤賞 受賞 『信号機器室用地絡保護装置の開発』
- ・ 電気設備学会中部支部 中部支部賞 受賞
- ・ 一般社団法人日本電気工業会 奨励賞 受賞

《2023年》

- ・ 一般社団法人日本開発工学会 奨励賞 受賞

《2022年》

- ・ 第75回 東北電気関係事業功績・功労者表彰 特別功績賞 受賞

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



＜雷情報の観測・情報発信を通じた 気候変動への対応と促進＞

情報化社会の高度化に伴い、低電圧の機器の増加、ネットワーク化が進み、雷の被害は増加しています。当社の雷防護製品によって落雷被害を最小化させるとともに、雷対策情報や株式会社フランクリン・ジャパンの雷・気象情報の提供により、雷被害回避や事前の落雷対応を可能にすることによる、人的・物的被害の軽減を目指してまいります。

4 質の高い教育を
みんなに



『質の高い教育をみんなに』

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

13 気候変動に
具体的な対策を



『気候変動に具体的な対策を』

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

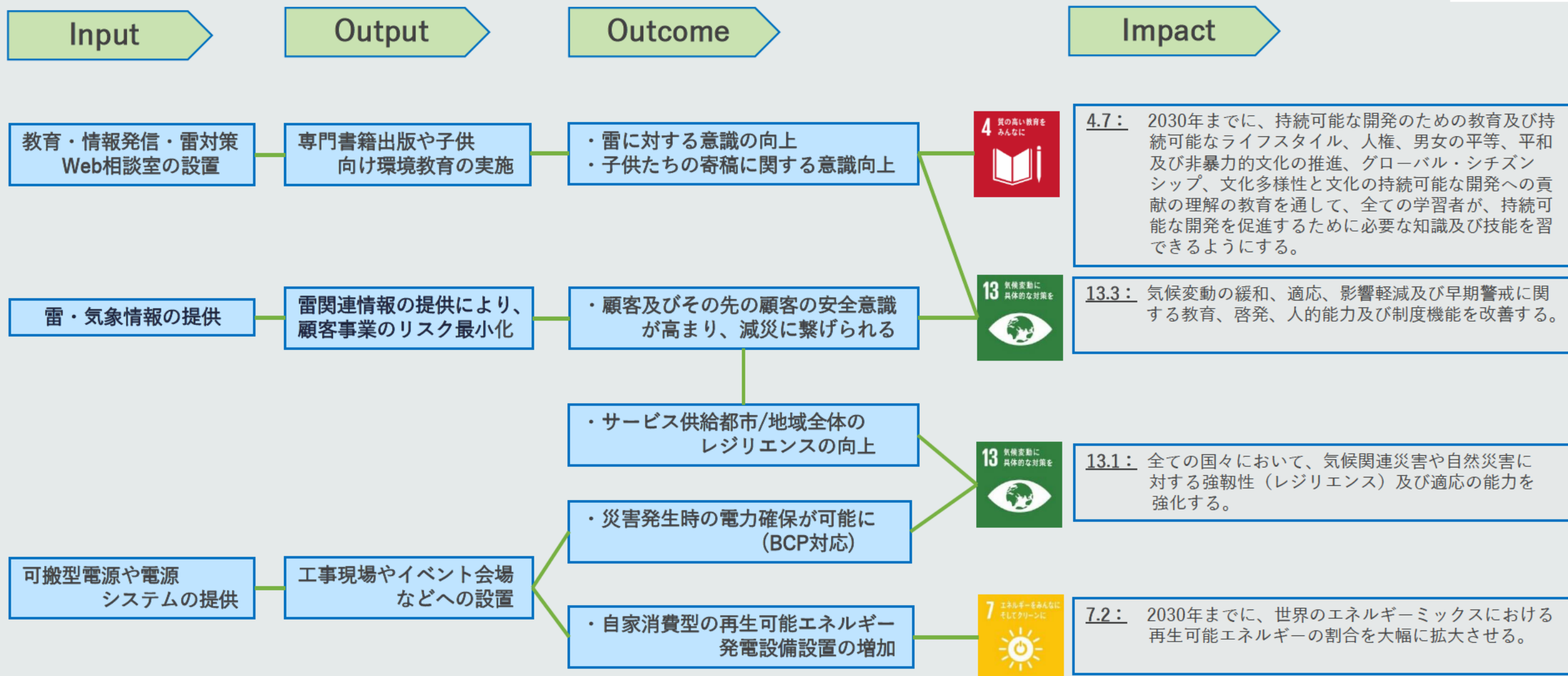
7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



『エネルギーをみんなに そしてクリーンに』

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

サンコーシヤグループSDGs活動のロジックモデル <雷情報及び気候変動への対応>



エネルギー関連事業

- ・ サンコーシヤグループはインフラ構築で培ったノウハウと最新技術を融合し、太陽光エネルギーなどのクリーンエネルギーや次世代エネルギーの設備・システムを社会に提供しています。
- ・ また、BCP対策として注目を集める非常用電源として蓄電システムやディーゼル発電機など幅広いラインナップで、社会の要求に対応し各インフラへのサービス安定供給の実現を目指してまいります。



オフグリッド電源システム

雷予測情報の提供

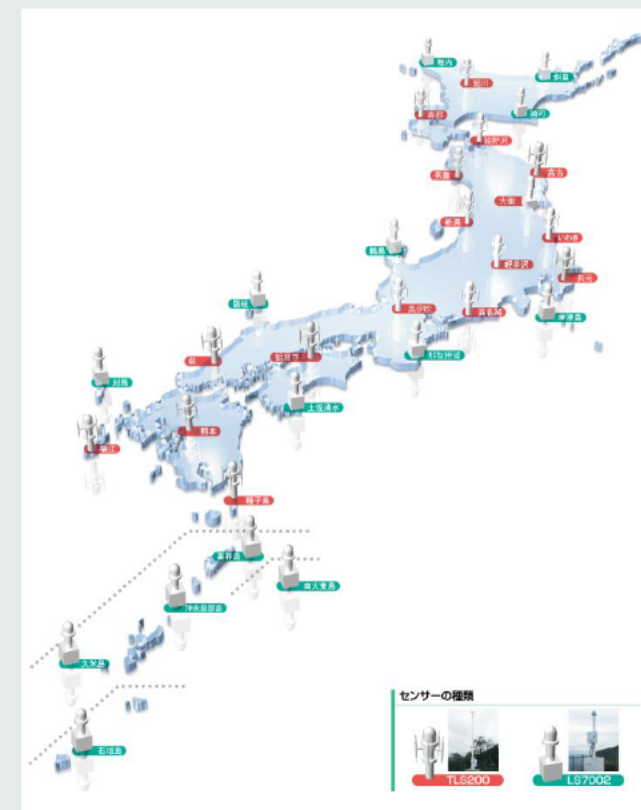
- ・ 雷防護の先駆者として築きあげた技術とメソッドを活用、高度にIT化された現代の産業インフラを雷被害から守ってゆくため、製品の供給にとどまらず、国内唯一の全国雷観測ネットワークを利用した落雷情報サービスやコンサルティング、システム構築までを、高い技術を駆使してトータルでサポート、雷被害による経済損失の最小化を目指してまいります。



LS7002センサ

雷・気象情報の提供

- ・ サンコーシヤグループは、外部雷保護システムから内部雷保護システム/雷観測システムの他、雷による被害を防ぐ「防雷」のみならず、「調査・分析」についても早くから注力し、グループ会社/フランクリン・ジャパンが雷観測ネットワーク「JLDN」を構築し、31基のセンサーにより国内全域での24時間体制リアルタイム雷観測を実現しました。
- ・ 「JLDN」の雷データと気象庁の気象データを組合せ、人命や財産を守るための落雷・天気情報・雨量など情報提供サービスを展開することにより、雷被害回避や事前の落雷対応を可能にすることによる人的・物的被害の軽減を目指してまいります。
- ・ さらに、観測結果を当社の様々な分析から雷防護技術向上に役立てることを目指してまいります。



【全国雷観測ネットワークJLDN】

書籍出版について

《雷のひみつ》

- ・ 創業90周年記念事業として、停電を起こしたり、電化製品を壊したりする『雷』の正体を解き明かし、雷被害を防ぐ方法など、『雷』との付き合い方などをわかりやすく紹介した小学生向け学習まんが書籍『雷のひみつ』を制作し、出版した書籍を全国の小学校や公立図書館に寄贈致しました。

《雷サージの本（スッキリ！がってん！）》

- ・ 雷サージとはどのようなものなのか、雷被害のリスクを低減するためにはどのような対策が有用なのか等について解説した書籍『雷サージの本（スッキリ！がってん！）』を制作、出版いたしました。

子供向け『雷の勉強会』実施

- ・ 子供たちが科学に興味を持ってもらうことを主旨として各所で開催される「ラジオ工作教室」の中で、当社社員が講師になり、当社発刊の『雷のひみつ』等を教材に、子供たちに雷の勉強会を実施しました。

《2026年度》	○ 海上保安学校 五森祭	○ 灯台ワールドサミット in 東通
《2025年度》	○ 宮古市産業まつり	○ 大船渡防災観光交流センター
《2024年度》	○ 釜石海上保安部	○ 海上保安学校門司分校
	○ 宮古市総合体育館	○ 灯台ワールドサミット in 銚子

雷に関する情報発信

ホームページを通じて『雷対策の基本』など幅広い情報を公開するとともに、『雷対策WEB相談室』を開催、雷に関する幅広い知識や対策の普及にも努めています。



[株式会社サンコーシャ](#)

[雷対策WEB相談室 | 株式会社サンコーシャ](#)

[雷対策の基本 | 株式会社サンコーシャ](#)

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



接地に関する情報提供

ホームページを通じて『接地の基礎知識』『接地設計簡易計算機』『大地抵抗率検索マップ』を公開し、接地設計の情報提供を行っております。

◆ 当社の接地事業
接地の基礎知識

[当社接地事業と接地の基礎知識 | 株式会社サンコーシャ](#)



接地設計簡易計算機

サンアース帯状施工によって得られる
接地抵抗値が自動計算できます

[接地設計簡易計算機 | 株式会社サンコーシャ](#)



大地抵抗率検索マップ

日本全国の大地抵抗率が検索できます

[大地抵抗率検索マップ | 株式会社サンコーシャ](#)

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



雷に関する情報発信 / 国内外グループ会社

サンコーシヤグループ各社もHPを通じて、雷に関するいろいろな知識の普及に注力しています。
また、雷対策事例を紹介するとともに、雷被害の最小化の為、ノウハウを活用した具体的な雷対策のアドバイス等も積極的に行なっています。



[株式会社フランクリン・ジャパン](#)



[雷に関する幅広い知識・対策・情報をお届け | 雷（らい）ぶらり](#)



[技術データ-エースライオン株式会社](#)

<事業会社としての社会貢献>

企業としての社会的責任を果たすため、これからも環境・品質・情報セキュリティに対するマネジメント強化に努めています。また、パートナーシップを活性化、持続可能な開発目標達成に向けた実施手段を拡大してまいります。

4 質の高い教育を
みんなに



『質の高い教育をみんなに』

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

8 働きがいも
経済成長も



『働きがいも経済成長も』

生産的な完全雇用および DecentWork(※)を推進する

※ 働きがいのある人間らしい仕事

12 つくる責任
つかう責任



『つくる責任 つかう責任』

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

16 平和と公正を
すべての人に



『平和と公正をすべての人に』

平和で包摂的な社会を推進し、効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

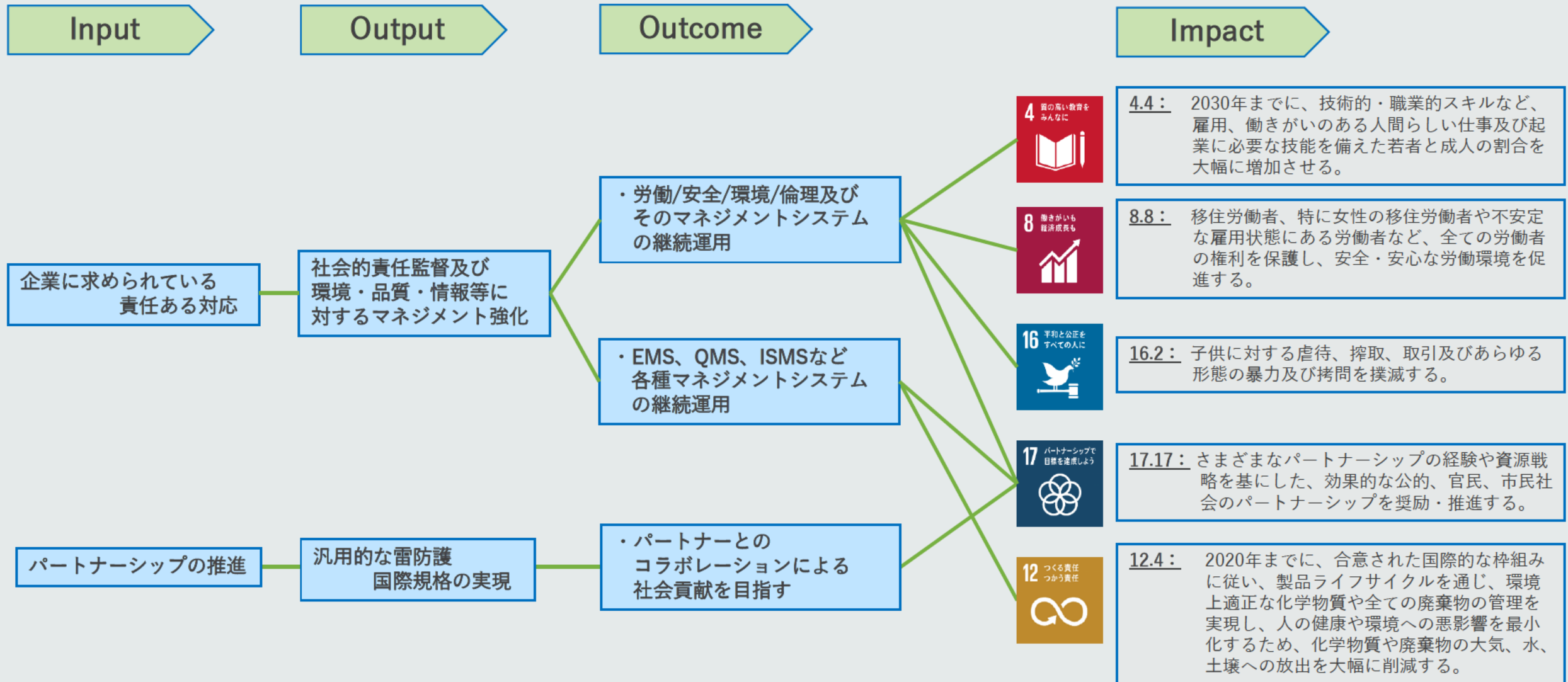
17 パートナーシップで
目標を達成しよう



『パートナーシップで目標を達成しよう』

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

サンコーシャグループSDGs活動のロジックモデル <事業会社として社会貢献>



カーボンニュートラルの実現に 向けた接地抵抗低減材を開発

- 接地工事において、接地抵抗値を低減するために用いる製品が接地抵抗低減材です。
- 弊社従来品と比べ、製造過程でのCO₂排出量を低減させるため、バイオマス発電の副産物であるバイオ炭（付随的CO₂排出ゼロ）を利用しています。
- また、バイオマス発電の原料となる木材は、そのまま自然放置すると微生物による分解作用でCO₂が大気中に放出されますが、バイオマス発電で炭化されたことによるCO₂固定化の効果など、それらを特長とした製品となっています。
- 従来の化石燃料由来の材料を自然由来の材料に切り替え、接地抵抗低減効果と環境配慮を兼ね備えた次世代の接地抵抗低減材
【バイオサンアース】を実現しました。

Environmentally friendly earthing enhancing compounds
BIO SAN-EARTH

環境配慮型 接地抵抗低減材 **バイオサンアース**

12 つくる責任
つかう責任



特長



地球温暖化の原因となるCO₂排出量を従来製品比 約21%削減(CFP算定結果)^{※1}
製品1袋に含まれるバイオ炭により、約8.5kgのCO₂を土壌に長期貯留^{※2}

※1 製品の原材料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体におけるGHG排出量を算定(CFP算定)した結果、バイオサンアースは19.95kg-CO₂eとなり、従来製品(25.35kg-CO₂e)と比較して約21%の低減。
※2 J-クレジット制度「バイオ炭の農地施用」方法論に基づき、バイオ炭によるCO₂貯留量を算定。

従来製品と比較して6kgの軽量化

サンアースM5C:1袋25kgに対し、バイオサンアースは1袋19kg。
1袋あたりの施工長は変わらず帯状施工で約3m(掘削幅0.5m)。運搬、施工の負担軽減。

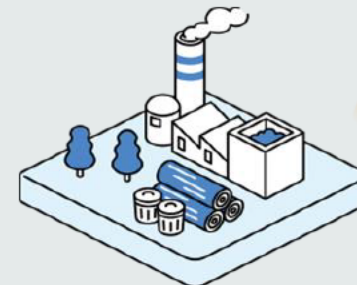


従来製品と同等の接地抵抗低減効果

1年間の埋設試験において、従来製品と同等以上の接地抵抗低減効果を確認。

仕様

項目	仕様
組成	バイオマス発電の副産物、セメント
比抵抗	0.5Ω・m以下 IECに準拠した測定(IEC62561-7)
梱包重量	19kg/袋



化石燃料由来の
材料から
自然由来の材料へ
チェンジ

温室効果
ガスの
排出量を削減

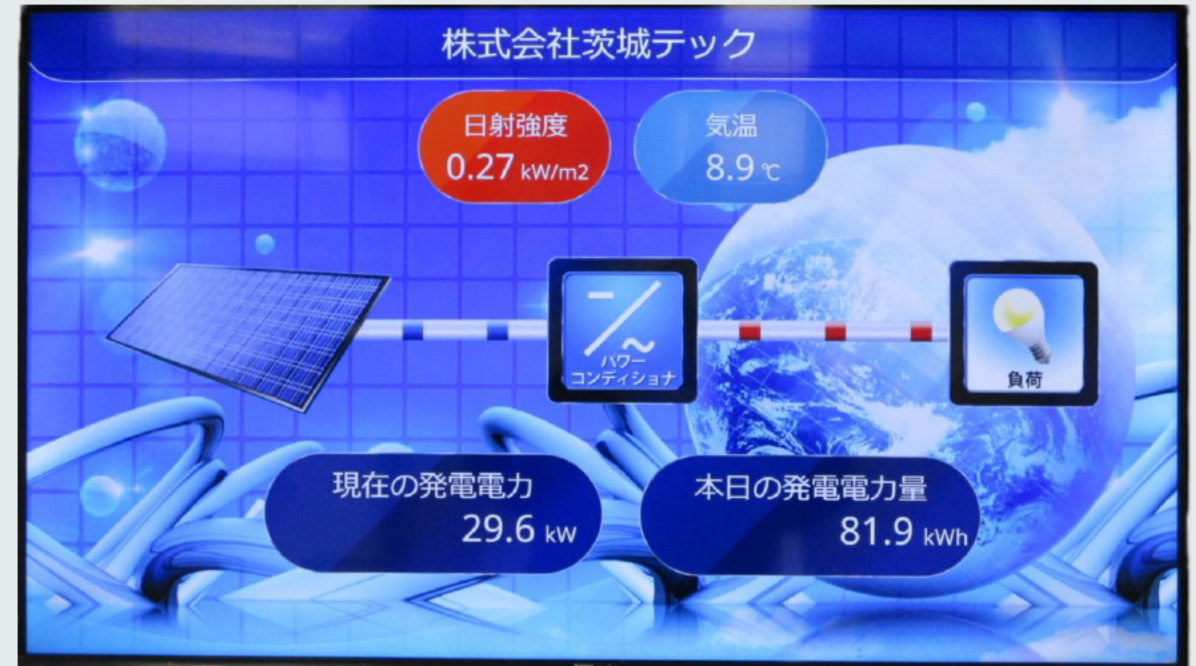


バイオマス
発電副産物

バイオマス
発電の副産物
を採用し、
土壌への炭素
貯留を推進

太陽光発電の導入

国内生産グループ会社の茨城テックは太陽光発電システムを2023年度に設置/稼働して、生産工程の電源は再生可能エネルギーを使用しています。



【株式会社 茨城テック】

水素事業へ参入

- ・ 水素関連製品（水素タンクなど）の販売、水素ステーションの雷対策を施すため、米国に「SANKOSHA ENERGY AMERICA, INC.」を設立しました。
- ・ パートナー企業の水素タンク（Type 4）を、水素エネルギーインフラ事業者へ展開します。

TYPE4 TANK概要

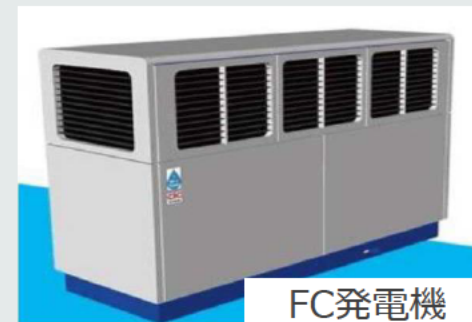


● TYPE4 TANK仕様

全長	2265mm
重量	185kg
容量	260L
外径	Φ574
常用圧力	70MPa
設計圧力	>157.5MPa
水素搭載量	10.5kg
適用技術基準	CSA / ANSI HGV2:23



FCモービル



FC発電機



港湾クレーン・運送機械

各種ISOへの取組み

ISO14001 (EMS) :

事業領域における環境負荷の持続的な軽減めざし、積極的な改善に取り組んでいます。

ISO9001 (QMS) :

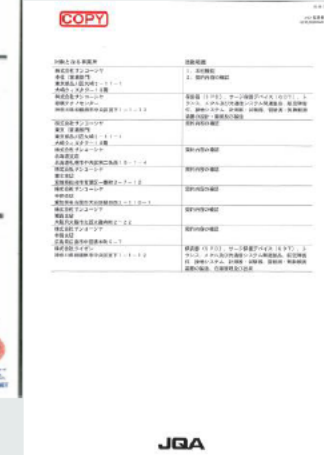
製品開発における検証、製造～出荷の全領域で改善活動を行ない、品質向上に取り組んでいます。

ISO27001 (ISMS) :

情報の保護と適切な取扱いにより、信頼性を向上、お客様に安心してお取引いただけるよう取り組んでいます。



ISO9001マネジメントシステム登録証



ISO14001マネジメントシステム登録証



ISO/IEC27001マネジメントシステム登録証



SDGs目標達成に向けて

- ・ 事業活動と各種社会貢献活動を通じて持続可能な社会実現に貢献してゆく取組みをスタートして以来、同活動の継続実施に向け、SDGs活動や働き方改革の推進など、定期的に専門シンクタンクによるヒヤリングを受け、目標達成に向けた活動状況等のチェックとアドバイスを受け、より効果的な活動を実施していくように努力を続けています。
- ・ サンコーシヤグループは、これからも『持続可能な開発目標 / SDGs』の主旨に沿って、より積極的に持続可能な社会実現に貢献してゆくことを目指してまいります。



SDGs推進融資実行証



働き方改革推進融資実行証